

大震災・復興ニュース(第142報)

平成26年1月23日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 宮城県内の水産物の放射能測定結果について

- 1 測定年月日 平成26年1月10日～平成26年1月21日
- 2 測定分析機関 宮城県,(一財)日本食品分析センター,(一財)九州環境管理協会,東北緑化環境保全(株),いであ(株),(一財)宮城県公衆衛生協会,(一財)日本冷凍食品検査協会,(公財)海洋生物環境研究所,(株)総合水研究所。
- 3 測定結果

宮城県内で平成25年12月23日から平成26年1月17日に採取した水産物48検体(ヒラメ11検体,マガキ(養殖)10検体,ヒガンフグ9検体など)について,放射能を測定した結果,すべての検査品目について,基準値を下回り,安全性に問題のないことが確認されました。

2 管内の復興に向けた動き

亘理町水産センターの安全祈願祭並びに起工式が行われました

・「地域資源活用総合交流施設」(仮称)水産センターを新たに建設する工事の安全祈願祭並びに起工式が,1月21日(火)に亘理町荒浜で行われました。

施設は,現在の魚市場の向い側に建設され,被災した水産センター(水産物調理施設等)のほか,わたり温泉島の海にあった地場産品直売所ふれあい市場や宮城県漁協仙南支所,独立行政法人防災科学技術研究所の地震観測施設等が入居するほか,津波発生時の避難所として活用できる施設として一体的に整備されます。

震災により壊滅的な被害を受け,漁港施設や魚市場・漁船等の復旧整備が行われているなか,「(仮称)水産センター」は,荒浜地域の水産業の早期復興や,地場産品の販売促進など地域産業の活性化に貢献する施設として大いに期待されます。



関係者による「鍬入れ」



(仮称)水産センターの完成イメージ図

1 2月の塩竈市魚市場の水揚げ状況

・地方卸売市場塩竈市魚市場の平成25年12月の水揚げ量は、数量2,512トン、金額1,233,261,261千円でした。前年同期と比較すると数量では1,338トン、金額で484,752千円の増加となりました。これは、例年11月～12月に休漁する遠洋トロール漁船が、10月末までに漁獲した水産物を冷凍保管し、価格が高くなる年末に市場に上場したためです。

また、1月から12月までの水揚げ累計は、数量で18,248トン、金額では9,286,594千円となり、昨年と比べると数量で7,225トン、金額で4,856,229千円の減少となりました。減少の主な理由としては、鮪延縄船及び遠洋底曳網船（キンメダイやクサカリツボダイ）による水揚げが不振によるものです。

塩竈市魚市場水揚げ状況（平成25年1月～12月累計）（トン、千円）

区 分	平成25年		平成24年		対 比	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
1～12月の累計	18,248	9,286,594	25,473	14,142,823	72%	66%
（うち12月）	（2,512）	（1,233,261）	（1,174）	（ 748,509）	（214%）	（165%）

第36回松島復興・未来かき祭りが開催されます

・2月2日（日）9時から松島海岸グリーン広場で「松島かき祭り」が開催されます。

今回の「松島復興・未来かき祭り」という名称は、この祭りが宮城の「かき」再生の一助となることと、被災地に輝く未来が訪れるよという願いが込められているとのことです。

当日は、「かき鍋」や「かき殻焼き」の無料試食コーナーを始め、炉端体験コーナーなどの各種イベントが予定されていますので、会場にお越し頂き旬のかきを味わってはいかがでしょうか。

松島かき祭りのポスター

